

## 実践 南九州市立知覧図書館

### 1 はじめに

南九州市は、日本一の生産量を誇る「茶」「さつまいも」等農産物を生産する食糧基地であるとともに、武家屋敷群等や特攻平和会館など「知覧」の地名は全国的にも有名である。その武家屋敷群等のそばに建っているのが南九州市立知覧図書館である。

南九州市立知覧図書館は、明治 14 年新聞縦覧所に始まり、明治 35 年私立知覧文庫・大正 4 年私立大正図書館を経て、大正 13 年に私立から公立に移管され村立図書館となり、平成 11 年に現在の図書館としてオープンした。

「南九州市子ども読書推進計画」(平成 21 年策定)のもと、幼児期から読書に親しむための定期的な取組・イベント的な取組・学校と連携した様々な取組を続けている。

また、2 台の移動図書館車の運行により、月 2 回、市内の幼稚園、保育園、小中学校に児童・生徒からリクエストのあった本など約 2 千冊の本を届けている。



(南九州市立知覧図書館)

### 2 主な事業

#### (1) 館内事業

定期的な事業として、毎週土曜日だれでも参加できる「おはなし会」を実施している。親子・学童・図書館利用者が、毎回楽しみに参加し、絵本・紙芝居・パネルシアター等を使用した読み聞かせを聞いて、本の楽しさ、面白さを体験できる機会となっている。

また、春と秋の読書週間に合わせ、ボランティアも参加した「おはなし会スペシャル」を実施している。様々な年齢層の子どもたちの参加があり、司書・ボランティア・職員と言葉のやり取りを交わしながら、楽しい時間を過ごしている。「おはなし会」の後は、図書館を楽しむ姿も見られ図書館利用促進にもつながっている。



(おはなし会スペシャル)

#### (2) 館外事業

3・4 か月健診時、保健センターへ司書・職員が出向き、「絵本のプレゼント」を行っている。現場でプレゼントをする絵本の読み聞かせを司書が行い、親子で絵本に触れ合う場となっている。保護者が希望する絵本等のアンケートもとっている。また、職員が図書館についての説明を行うなど、図書館を知ってもらう場にもなっている。

また、定期的に市内小学校・幼・保育園・福祉施設等に出向いての読み聞かせ「出張お

はなし会」も行っている。平成 24 年度は 29 回の依頼があり，司書・職員で行っている。20 分～30 分程度だが，季節・年齢等に配慮しながら絵本だけでなく，いろいろな図書資料から演目の選定をしている。

### (3) イベント的な事業

年 1 回絵本作家の講演「読書のつどい」を開催している。平成 25 年度は講師に鈴木のりたけ先生をお呼びして，講演会・ワークショップを実施した。直接絵本作家の話を聞き，一緒に作業を行い，子どもから大人まで楽しんでいる姿が見られた。絵本を身近に感じてもらえている。



(読書のつどい)

## 3 学校との連携

学校長をはじめ読書担当教諭などを対象にしたブックトークやアニメーション等についての研修を行う「ステップアップセミナー」や図書館運営に関する「先進地視察」や，学校図書館運営に関する「南九州市学校図書館運営研究会」を，毎年小中学校を会場に開催するなど，図書館と学校が連携を深めながら読書活動の活性化が図られるよう努めている。

また，市内小・中学校に読書感想文・感想画を依頼し，読書感想文・感想画集「読書のひろば」を年 1 回発行したり，市内 26 小・中学校，20 幼・保育園を月 2 回移動図書館車で巡回したりしている。



(南九州市読書のひろば第 5 号)



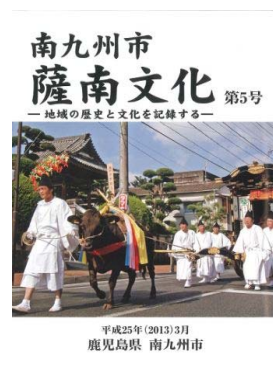
(移動図書館車での貸し出し)

## 4 おわりに

南九州には公共図書館として，額娃図書館・知覧図書館・川辺図書室と 2 館 1 室の図書館があり，各館の特色を活かしながら図書資料収集に努め，250,000 冊以上の図書資料を所蔵している。

また，本市の歴史・文化・地域活動・産業・行政など書き残した郷土研究誌「南九州市 薩南文化」を年 1 回発行し，貴重な資料となっている。

これからも，利用者のニーズや時代に即応した図書資料の収集に努め，図書館が市民の皆様の生涯学習の場・憩いの場となり，皆さんの本・情報と出合える図書館でありたいと思う。



(南九州市薩南文化第 5 号)